

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

1 日時 令和5年7月13日(木) 10時30分～11時25分

2 場所 小会議室

3 会順・内容

(1) 開会の言葉

(2) 委員及び職員の紹介(自己紹介)

(3) 校長あいさつ及び概況説明

(4) 現況報告(生徒指導部, 進路指導部, 保健部, 事務部)

(5) 質疑応答及び委員からの提言

① A委員: 鹿児島南高校生であることにプライドをもっているように感じる。

朝の課外授業を廃止したとのことだが, 授業外の学習状況はどうか。

A. 教室を開放して朝自習を可能にしている。2年生は各クラス4～5人, 3年生は20人くらい取り組んでいる。早い生徒は6時30分に登校している。休日も教室を開放しており, 学習している。

② B委員: 自転車通学生のヘルメット着用率はどの程度か。

A. 100%である。ヘルメットの着用を自転車通学の許可条件にしている。

③ B委員: 県内で決済アプリ詐欺が発生したが, 被害はなかったか。

A. 被害の報告は受けていない。ネットトラブルに巻き込まれないように全校集会で指導している。

④ B委員: スクールミッションの進捗状況について教えてほしい。

A. スクールミッションについては7月末に県が公表する。実現に向けてこれからスタートすることになる。

⑤ C委員: 谷山サザンホールを吹奏楽部とダンス部が利用している。特にダンス部の生徒達は特に挨拶がよい。自主性のない子どもが増えている中で, 朝自習は子どもたちの自主性に任せるすばらしい取組だと感じる。

⑥ D委員: 不登校の状況と対応について教えてほしい。

A. 数人はいる。まったく登校できていない生徒は現在いない。まずは, 学級正副担任が対応している。また, スクールカウンセラーが来校し, カウンセリングを実施している。保護者が相談することもある。

⑦ B委員: 行事をプラス思考で実施しようとするのが大事だ。しない, 減らすことばかりではなく, どのようにすればよいかも考えてほしい。

A. 学習指導要領・生徒指導提要の改訂やICT活用など様々な対応を求められているが, 教職員が意識を高くもつようにしたい。

(6) 諸連絡

(7) 閉会の言葉

## 信頼される学校づくりのための委員会報告

1 日時 令和5年7月13日(木) 11時30分～12時00分

2 場所 小会議室

3 会順・内容

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

(3) 現況報告及び意見交換

① A 委員：教育の質を落とすことなく働き方改革を行うことは難しいか。

A. ファシリテート（導く指導）や、ともに学ぶ指導，量より質の学習の充実により，教育の質の維持・向上を図りたい。

② A 委員：行事の精選，情報公開は行っているか。

A. 様々行っている。シラバス等の開示も積極的に行っている。

③ B 委員：年休は取得，勤務時間の短縮はできているか。

A. リフレッシュウィークや考査期間の午後等に積極的に取得するよう促している。しかし，休日に行われた大会の振休の取得，会議等による出張も多くあり難しい。定時退校日に17時30分までに学校を出る職員は増えている。タブレットの整備により夜・休日にも生徒に対応している職員もいる。渋滞を避けるために勤務時間が長くなっている職員もいる。

④ B 委員：勤務時間の管理はどのように行っているか。

A. タイムカードを用いている。

(4) 閉会の言葉